

# 新潟県自転車活用推進計画

令和3年4月

(令和8年3月一部改訂)

新 潟 県

# 目次

<b>第1章 計画策定の趣旨</b> .....	<b>1</b>
1. 計画の背景 .....	1
2. 計画の目的 .....	1
3. 計画の区域 .....	1
4. 計画の期間 .....	1
5. 上位関連計画との関連性 .....	2
<b>第2章 自転車を取り巻く現状と課題</b> .....	<b>3</b>
1. まちづくり .....	3
2. スポーツ・健康 .....	7
3. 観光 .....	9
4. 安全・安心 .....	14
5. 自転車の利用環境 .....	17
6. まとめ .....	18
<b>第3章 計画の目標</b> .....	<b>19</b>
<b>第4章 実施すべき施策</b> .....	<b>20</b>
1. まちづくり .....	21
2. スポーツ・健康 .....	25
3. 観光 .....	27
4. 安全・安心 .....	28
<b>第5章 計画の推進</b> .....	<b>34</b>
1. 計画のフォローアップと計画の見直し .....	34

# 第1章 計画策定の趣旨

## 1. 計画の背景

自転車の活用による環境負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康増進等を図ることなど新たな課題に対応するため、交通の安全の確保を図りつつ、自転車の利用を増進し、交通における自動車への依存の程度を低減することによって、公共の利益の増進に資すること等を基本理念とする自転車活用推進法（平成 28 年法律第 113 号。以下「法」という。）が平成 29（2017）年 5 月 1 日に施行された。

この基本理念に加え、自転車の活用の推進に関する総合的かつ計画的な推進を図るため、法第 9 条に基づき、我が国の自転車の活用の推進に関して基本となる自転車活用推進計画（以下「国の推進計画」という。）が平成 30（2018）年 6 月 8 日に閣議決定された。

## 2. 計画の目的

新潟県自転車活用推進計画は、法、国の推進計画及び新潟県総合計画を踏まえ、自転車交通を意識した人と環境にやさしいまちづくりの推進、自転車を利用したスポーツの推進や健康寿命の延伸、沿線の魅力を楽しむサイクルツーリズムの促進、自転車に関する安全・安心の確保等、本県の関係計画で策定する持続可能な自転車活用に関する施策の、総合的かつ計画的な推進を図るため、法第 10 条に基づいて定めるものである。

自転車活用の推進については、県内市町村においてもサイクルツーリズムの促進等、様々な取組が展開されていることから、今後も各地域の実情に応じた自転車を活用したまちづくりが行われることを期待するものである。

## 3. 計画の区域

本計画は新潟県全域を対象とする。

## 4. 計画の期間

本計画の計画期間は、国の計画を踏まえるため、2021 年度から 6 年間となる 2026 年度までとし、計画の実施状況や社会情勢等により、必要に応じて見直しを行います。

年度	2019年度 (R1年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)
国計画	国 1 次計画		国 2 次計画					国 3 次計画 (予定)		
県計画			県 1 次計画					県 2 次計画 (予定)		

## 5. 上位関連計画との関連性

計画の策定に当たっては、新潟県の総合計画である「新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～」をはじめ、関係計画との整合及び連携を図るものとする。

また、次章以降については、「新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～」における将来像を踏まえ、自転車の特性に応じて、「まちづくり」、「スポーツ・健康」、「観光」、「安全・安心」の4つの分野に設定した上で、計画を策定する。

新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～（平成31（2019）年3月）		
<b>将来像 1</b> 安全に安心して暮らせる、 暮らしやすい新潟	<b>将来像 2</b> 地域経済が元気で活力のある新潟	<b>将来像 3</b> 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟
<関連項目> ●安全・安心な地域を支える基盤づくり ●安全で安心なまちづくり ●健康立県の実現	<関連項目> ●多様な地域資源を活かした交流人口の拡大 （観光・スポーツ）	<関連項目> ●スポーツと文化の振興

自転車の特性に応じて、4つの分野に設定



### ▼関連計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>●広域都市計画マスタープラン</li> <li>●新潟県みちづくりプラン</li> <li>●新潟県環境基本計画</li> <li>●新潟県地球温暖化対策地域推進計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県スポーツ推進プラン</li> <li>●健康にいがた21</li> <li>●新潟県健康福祉ビジョン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県観光立県行動計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県交通安全計画</li> <li>●新潟県地域防災計画</li> </ul>
---	--	--	--

## 第2章 自転車を取り巻く現状と課題

### 1. まちづくり

#### (1) 自転車通行空間の整備状況

- 新型コロナウイルス感染症の流行により、自転車利用のニーズが高まるなど、移動の形態が変化しており、今後のまちづくりのあり方について検討の契機となっている。
- 新潟県内では一部の区間において自転車通行空間が整備されている。
- 政令市（新潟市）を除く、平成31年4月1日現在の自転車通行空間の整備延長は、13.1kmとなっている。

整備延長 (km)

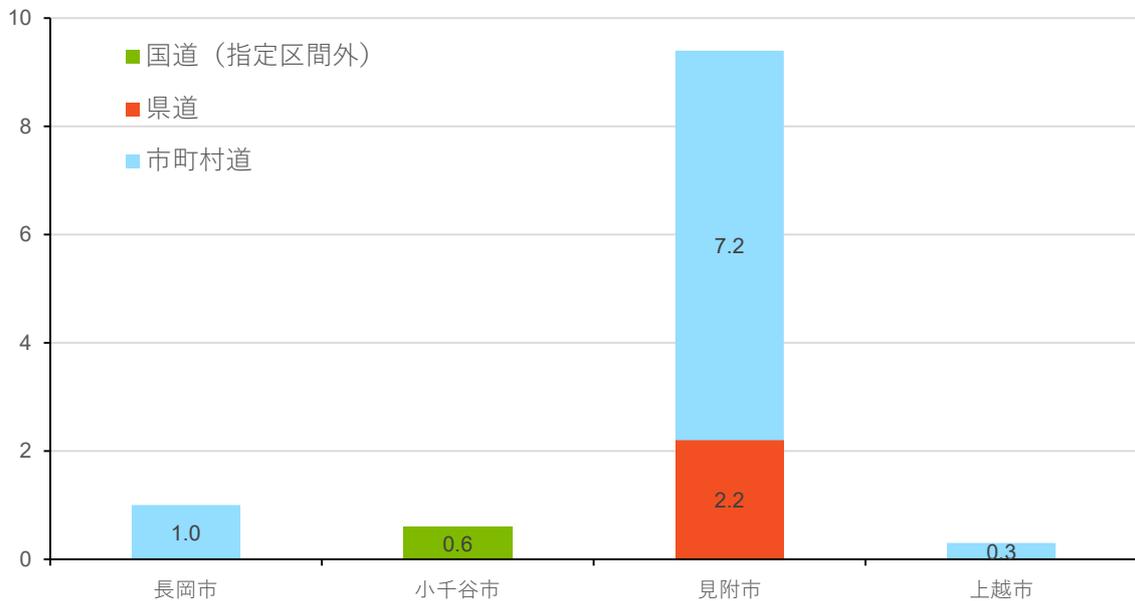


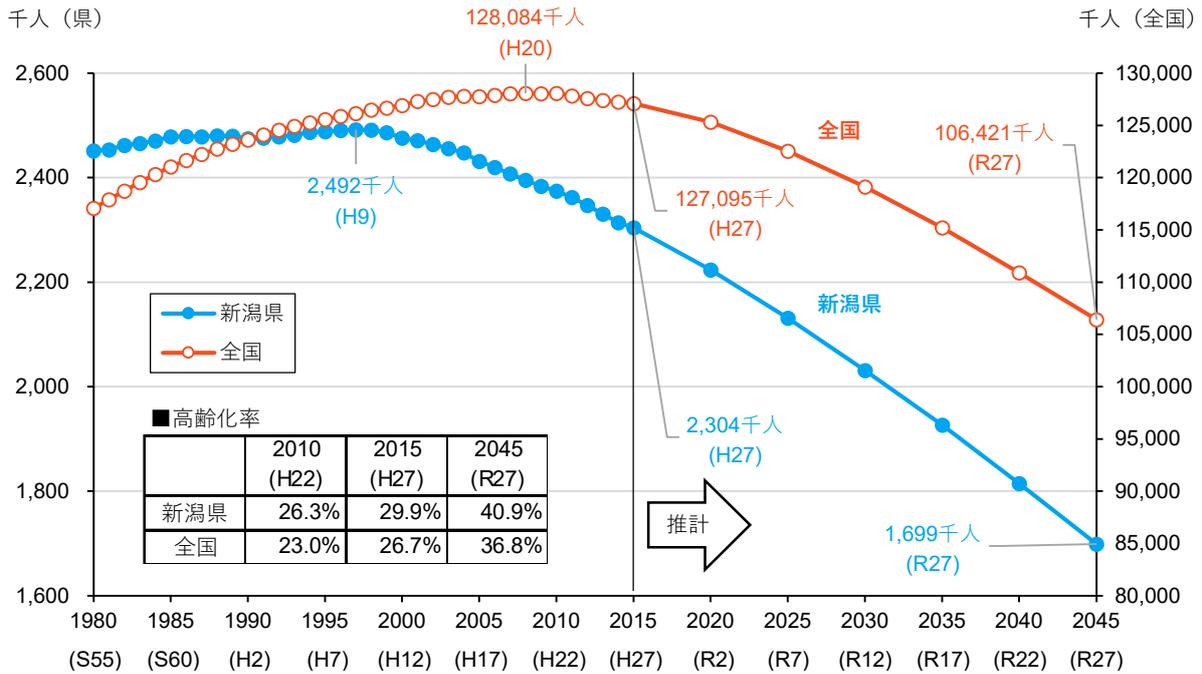
図 2-1. 県内の自転車通行空間の整備状況（平成 31 年 4 月 1 日現在）



車道混在の整備例  
一般国道 291 号（小千谷市）

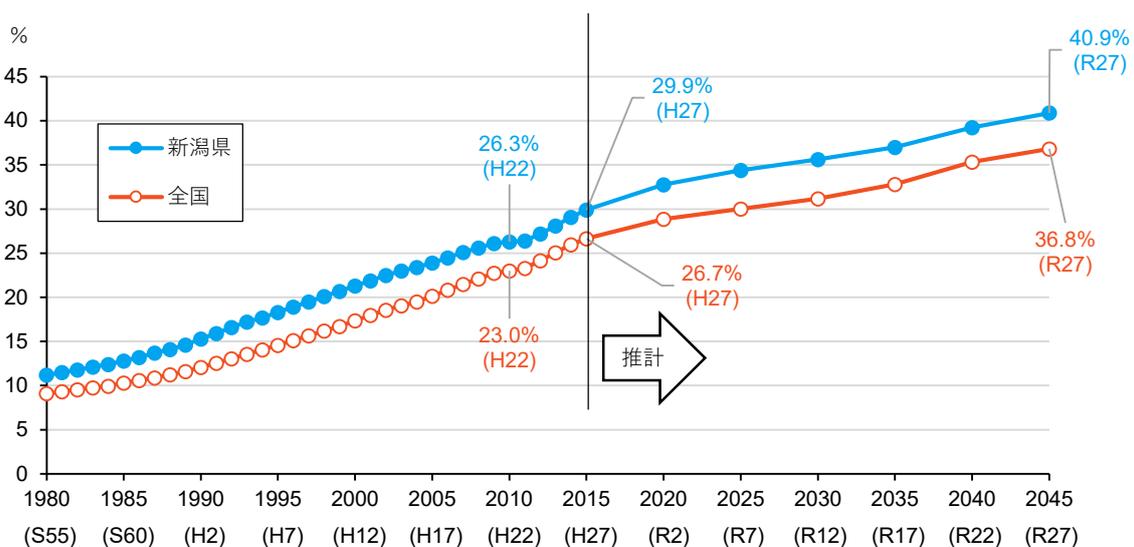
(2) 人口減少・高齢化

- 本県の人口は、平成9年（1997年）の249.2万人をピークとして減少に転じ、令和27年（2045年）には169.9万人に落ち込むと見込まれている。
- また、本県は全国より早いペースで少子高齢化が進展しており、総人口に占める高齢者の割合は、平成22年（2010年）の約26.3%から、平成27年（2015年）には約29.9%（全国平均26.6%）に増加し、令和27年（2045年）には約40.9%まで増加すると見込まれている。
- 高齢社会を迎え、移動手段が限られる高齢者が増加していることから、交通弱者への対応検討が必要となる。



【出典】 H27年以前：新潟県の人口移動、人口推計（総務省統計局）  
 H28年以降：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

図 2-2. 人口の推移

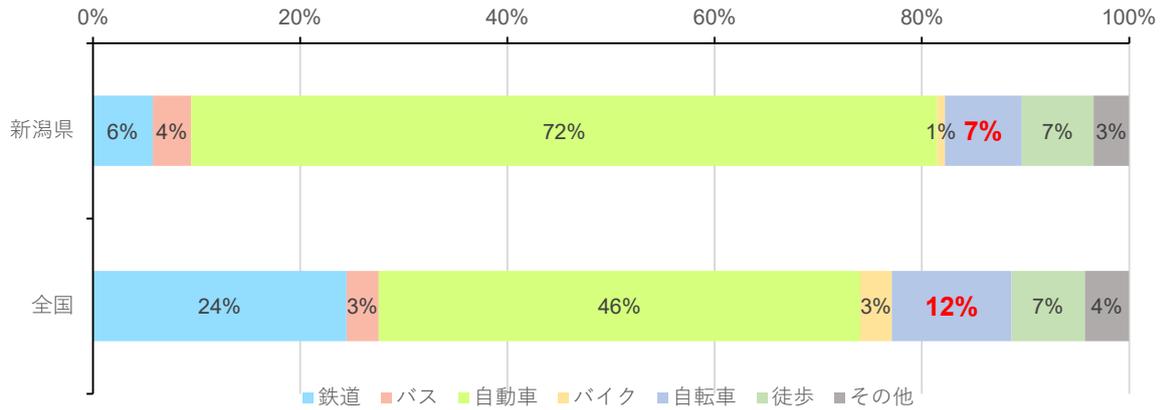


【出典】 H27年以前：新潟県の人口移動、人口推計（総務省統計局）  
 H28年以降：日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

図 2-3. 高齢化の推移

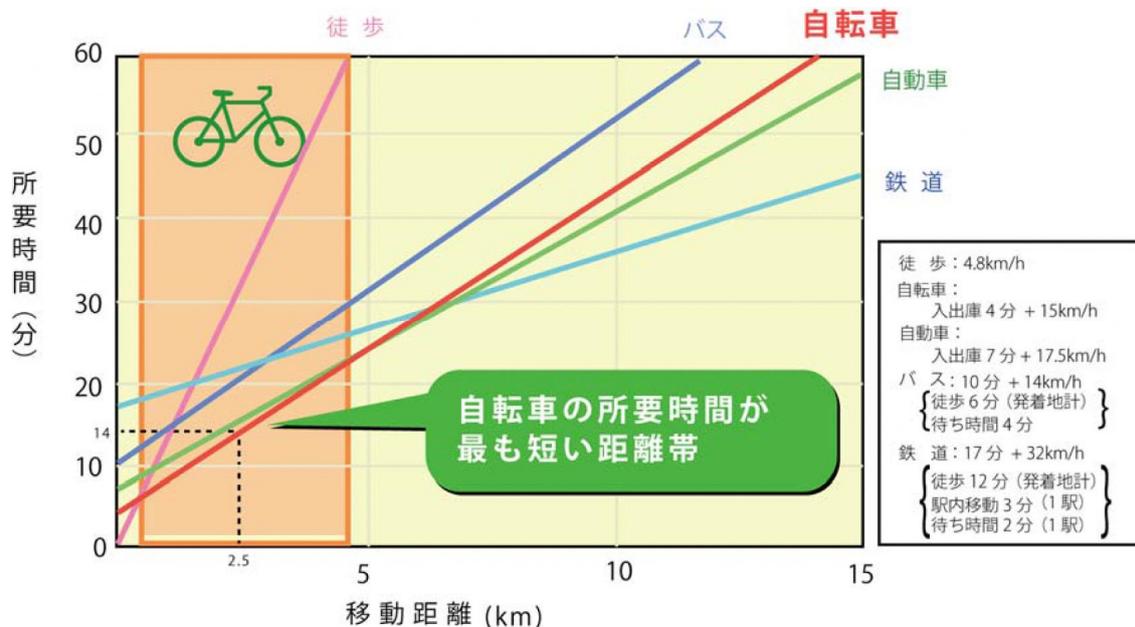
(3) 交通手段分担率

- 本県の自動車分担率は、72%であり全国平均と比較すると過度な利用傾向にある。
- 一方、自転車の分担率は、7%であり、全国に比べ自転車の利用率は低くなっている。
- 自転車と他の交通手段との移動距離と所要時間を比較すると、5km 以内の近距離では、自転車の所要時間が最も短い。
- 短中距離の自動車利用を公共交通機関と自転車を組み合わせた移動にするなど、自動車へ過度に依存しないような利用転換に向けた検討が必要となる。



【出典】国勢調査（平成 22（2010）年）

図 2-4. 通勤・通学時の代表交通手段

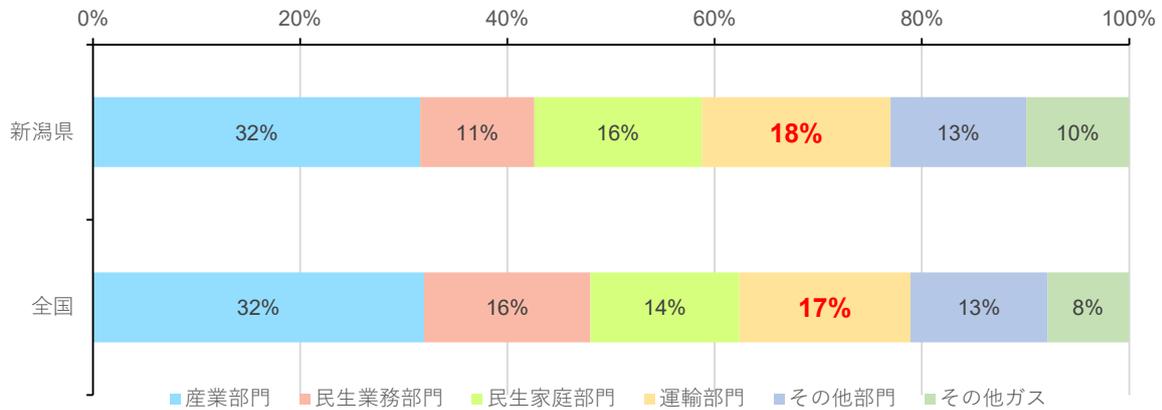


【出典】自転車活用推進官民連携協議会「自転車通勤導入に関する手引き」

図 2-5. 交通手段別の移動距離と所要時間の関係

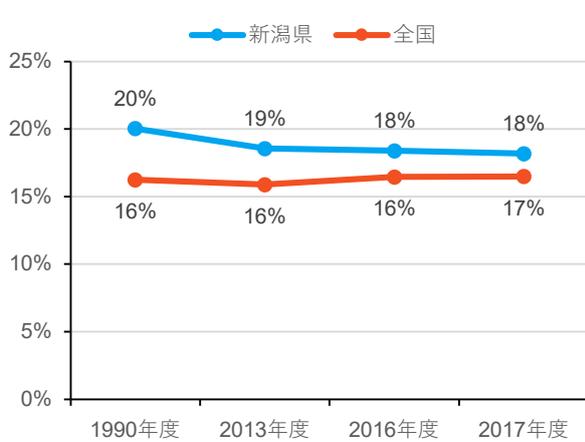
(4) 二酸化炭素排出量削減による環境への配慮

- 本県の運輸部門の CO2 排出量割合は 18%であり、近年減少しているが、全国に比べ高い。
- 自転車は、環境に優しい交通手段であり自転車利用への転換により、CO2 排出量削減が期待される。



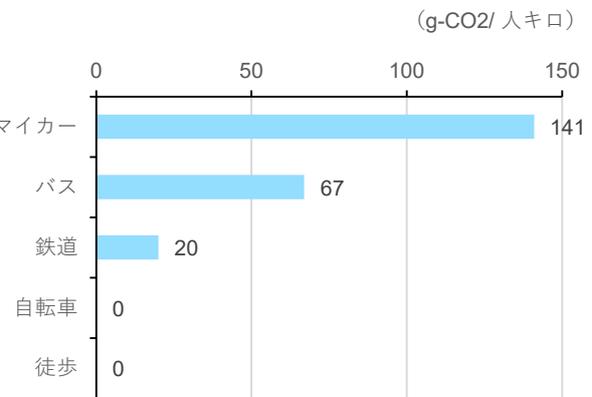
【出典】新潟県 HP「新潟県及び全国の部門別温室効果ガス排出量の割合」(2017 年度)

図 2-6. 部門別温室効果ガス排出量



【出典】新潟県 HP「新潟県及び全国の部門別温室効果ガス排出量の割合」(2017 年度)

図 2-7. 運輸部門の温室効果ガス排出量の推移

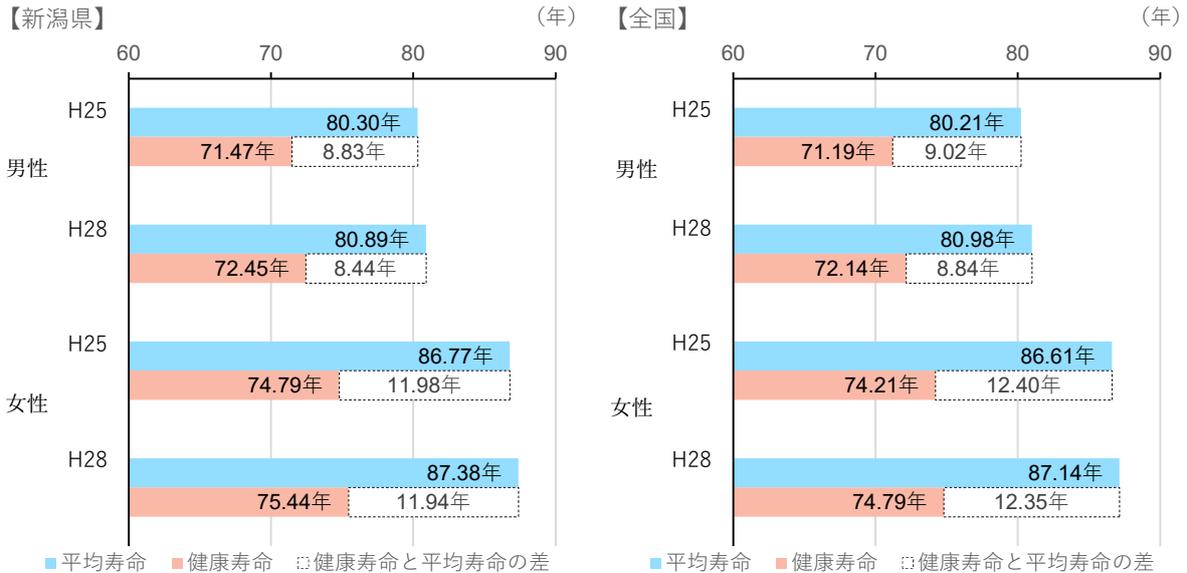


【出典】国土交通省「輸送量あたりの二酸化炭素の排出量(旅客)」(2016 年度)

図 2-8. 1 人が 1 km 移動する時の CO2 排出量

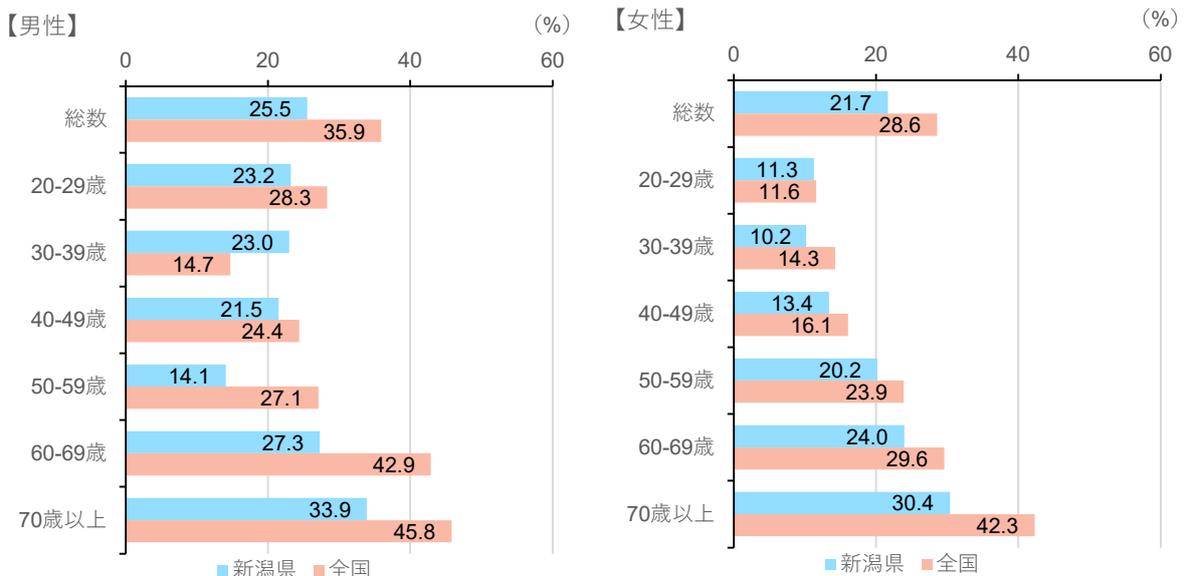
## 2. スポーツ・健康

- 本県の平成28年の健康寿命は、平成25年比で男女ともに延伸しているものの、平均寿命との間には差があり、さらに健康寿命を延伸していく必要がある。
- また、新潟県の運動習慣のある人の割合は、男性が25.5%、女性が21.7%で全国値を大きく下回る。
- 自転車により臓脂肪を燃やし、体力・筋力の維持・増進に役立ち、さらに、がんや心臓疾患による死亡・発症リスクの軽減が期待される。
- 通勤方法を自転車にすることで、運動習慣の形成が図られ、健康増進が期待される。



【出典】健康日本21（第二次）推進専門委員会資料、簡易生命表(H25、H28)（厚生労働省）  
新潟県生命表

図2-9. 健康寿命・平均寿命の推移



【出典】平成29年 県民健康・栄養実態調査報告（新潟県）  
平成29年 国民健康・栄養調査結果（厚生労働省）

※運動習慣のある人：1回 30分以上かつ週2回以上の運動を1年以上続けていると回答した人

図2-10. 運動の習慣がある人の割合

トピック

○自転車通勤の運動強度は安静時の6.8倍 3か月で体重と体脂肪率がダウン

自転車による通勤は、安静時の6.8倍の運動強度\*であるとされています。

3か月間の自転車通勤により、体重が7%減(約6kg減)、体脂肪率が4%減という調査結果もあります。



※運動強度を示す単位であるメッツ (METs) より

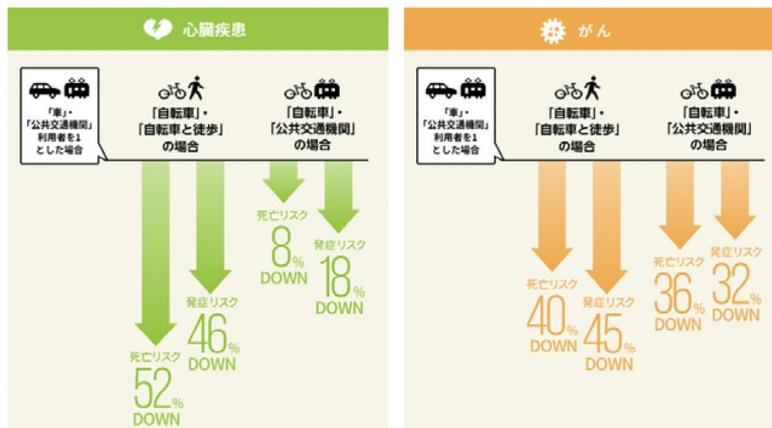
図6 自転車通勤と体重・体脂肪率の変化

【出典：株式会社シマノ】

○自転車通勤でがんや心臓疾患による死亡・発症リスクが大幅ダウン

2017年に発表されたイギリスの研究によると、自転車もしくは自転車および徒歩による通勤では、クルマや公共交通機関に比べて、がんによる死亡リスクが40%、心臓疾患による死亡リスクが52%も低いことが明らかにされています。

通勤時に「クルマや公共交通機関のみ」を利用する場合と「自転車」を利用する場合の  
心臓疾患・がんによる死亡/発症リスク



【出典：BMJ2017;357:j1456.】

図7 通勤時の手段別にみた心臓疾患・ガンによる死亡・発症リスク

【出典(図)：株式会社シマノ作成】

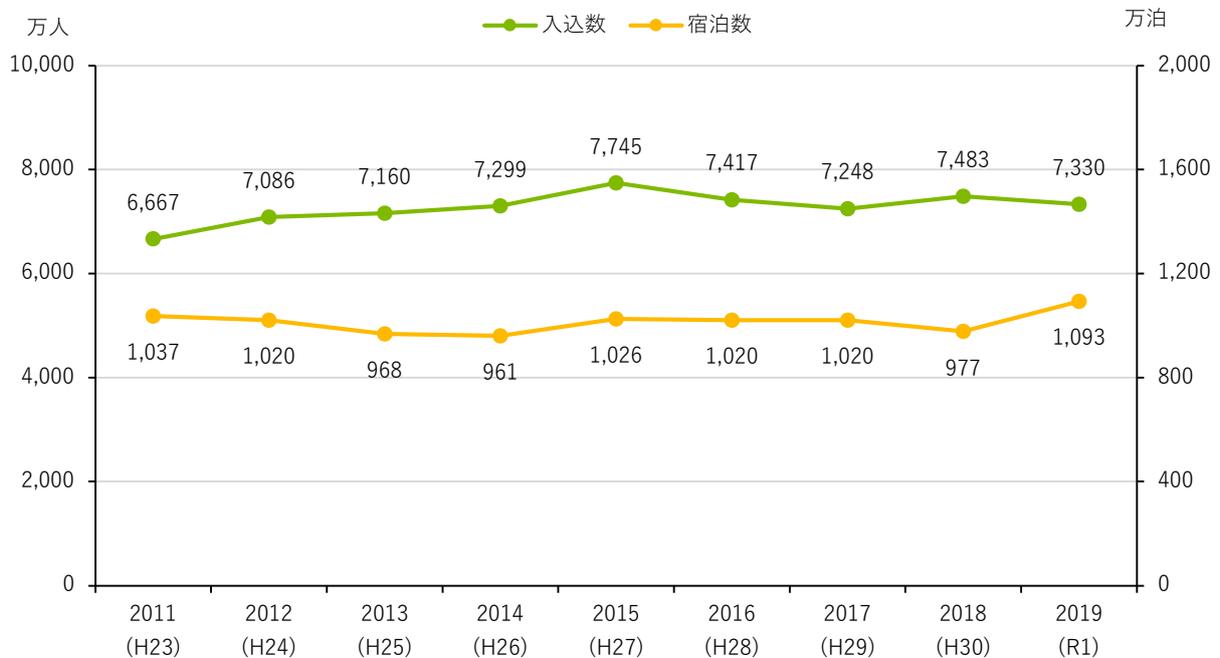
【出典】国土交通省「自転車通勤導入に関する手引き」

図2-11. 自転車利用のメリット(身体面の健康増進)

### 3. 観光

#### (1) 国内観光客の動向

- 従来の団体旅行から個人・グループ旅行へと旅行形態が変化していることや、観光情報の入手が容易になったことから、個人の興味や関心に合わせた旅行が可能となっている。
- また、その地域ならではの自然、文化等を体験・体感する「コト消費」への関心が高まっている。
- とくに、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、密集を避け適度に体を動かすことができるスポーツとして、サイクリングなどの屋外で行うアクティビティへの関心が高まっている。
- 県内では自転車イベントが数多く開催されているが、サイクリングは地域の魅力を五感で感じることができるとともに、食事、宿泊等の地域経済にも効果が期待できることから、グリーンシーズンにおける誘客に向け、サイクルツーリズムに係る取組を支援し、観光振興を図ることが重要である。



【出典】新潟県観光入込客統計調査  
宿泊旅行統計調査（観光庁）

図 2-12. 本県の観光入込客数の推移

(2) 外国人観光客の動向

- 本県の外国人延べ宿泊者数は、全国同様増加傾向で推移している。
- 月別に見ると、スキー等を目的とした宿泊により冬季の4か月（12月～3月）で全体の6割を占めていることから、年間を通じた誘客が課題となっている。
- 一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う各国政府の出入国制限により、令和2（2020）年は大幅に減少することが確実である。
- 感染症収束後においては、FIT（個人旅行者）やSIT（特定の興味・目的に絞った旅行）の増加が予想されることから、これらをターゲットとした、グリーンシーズンにおけるサイクルツーリズムなどの新たな観光コンテンツづくりに取り組むことが重要である。

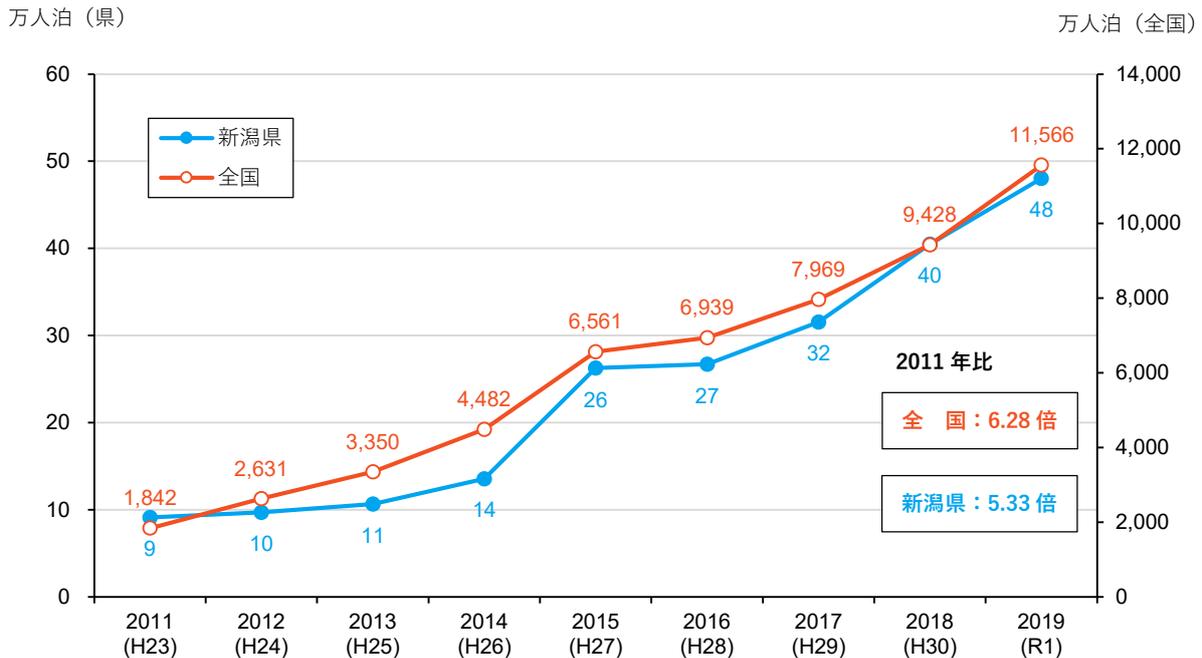


図 2-13. 外国人宿泊者数の推移 【出典】 宿泊旅行統計調査（観光庁）

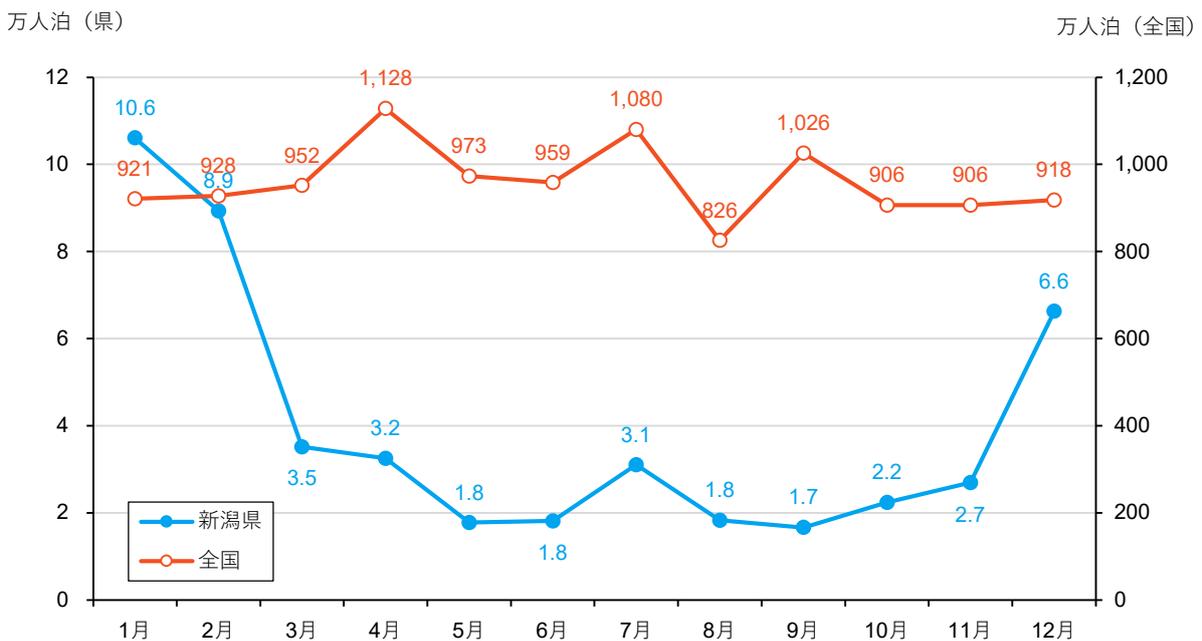


図 2-14. 月別外国人宿泊者数 (R1) 【出典】 宿泊旅行統計調査（観光庁）

## (3) 自転車イベント

○本県の自転車イベントは佐渡ロングライドをはじめ、様々な自転車イベントが県内各地で開催されている。

表 2-1. 県内の主要な自転車イベント (2019 年)

開催日	イベント名	開催地
2019/04/21	角田浜 MTB 春祭り spring festa 2019	新潟市
2019/05/19	2019 スポニチ佐渡ロングライド 210	佐渡市
2019/06/02	新潟開港 150 周年記念 新潟ケンペイ PRESENTS 2019 新潟シティライド	新潟市
2019/06/09	清流の里ごせんライド 2019	五泉市
2019/06/22	長岡 MTB フェスティバル 2019 Vol.1 2 時間耐久レース	長岡市
2019/06/23	越後長岡チャレンジサイクリング 2019 10 周年記念大会	長岡市
2019/06/23	第 4 回 ぐるりん柏崎ファストラン	柏崎市
2019/07/28	グランツール南 2019	小千谷市
2019/08/04	第 16 回 枝折峠ヒルクライム in うおぬま	魚沼市
2019/08/04	ご朱印ライド&ヒルクライド in 南魚沼 2019	南魚沼市
2019/08/18	長岡 MTB フェスティバル 2019 Vol.2 2 時間耐久レース 3	長岡市
2019/08/25	ツールド妻有 201910	十日町市、津南町
2019/08/25	田上町ヒルクライム大会 2019	田上町
2019/09/01	新潟ケンペイ PRESENTS 2019 新潟ヒルクライム 2DAYS in 弥彦・岩室 29	弥彦村、新潟市
2019/09/08	いい汗 いい食 江南健幸ライド 12	新潟市
2019/09/23	貸切列車で行く 只見線サイクリング 2019	長岡市、魚沼市
2019/09/29	苗場山麓ジオサイクリング 22	津南町
2019/10/06	2019 第 6 回 げんきママチャリ耐久レース in 新潟間瀬 1	新潟市
2019/10/06	第 6 回 南魚沼グルメライド 92	南魚沼市
2019/10/06	グランフォンド糸魚川 2019	糸魚川市
2019/10/27	佐渡オータムライド 130&佐渡金山ヒルクライム 4	佐渡市
2019/10/27	長岡 MTB フェスティバル 2019 最終戦 2 時間耐久レース	長岡市

【出典】 スポエン CYCLE

■角田浜 MTB 春祭り

角田浜トレイル（新潟市西蒲区）とその周辺を利用した特設コースでの耐久レース。ボランティアにより造成維持されている角田浜トレイル及び防風林の維持整備にも繋がっている。

■スポニチ佐渡ロングライド 210

最長で佐渡島一周 210km を走り、毎年 3,000 名以上の参加する大規模イベント。佐渡市内の景勝地を巡ることができ、佐渡産の食材を使った補給食も人気。



■長岡 MTB フェスティバル

2 時間耐久で順位を競う大会で、チーム種目もあるため、初心者や親子でも楽しめるイベント。

長岡市営スキー場の MTB 常設コースを会場とし、グリーンシーズンのスキー場を有効活用している。



■越後長岡チャレンジサイクリング

中越地震で被災した長岡・山古志地域の復興と全国への感謝を発信するため、平成 22 年にプレ大会を開催。令和元年に復興発信のラストイヤーとして 10 周年記念大会を開催し、全国各地から約 1,000 名以上が参加。



■ツールド妻有

「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」において、建築家伊藤嘉朗氏が平成 24 年に企画・発案したイベント。

美しい里山の風景やアート作品、建築作品などを楽しみながら自転車で巡るアートツアーとして、ほぼ毎年開催されている。



■田上町ヒルクライム大会

田上町内の坂道 180m、勾配 8 %を一気に駆け上がるサイクルスポーツ大会。タイムや優劣を競うことではなく、「自転車競技を楽しむ」ことを目的に、誰でも参加しやすい小規模な大会として、地元企業が中心となって開催され、世代間交流の場にもなっている。



(4) 自転車を活用した観光の取組

- 県内各地で自転車を活用した観光の取組が実施されてきている。
- 特に上越市と糸魚川市にまたがる久比岐自転車道は、サイクリストの受入環境整備を行い、魅力を情報発信している。

■久比岐自転車道の取組例

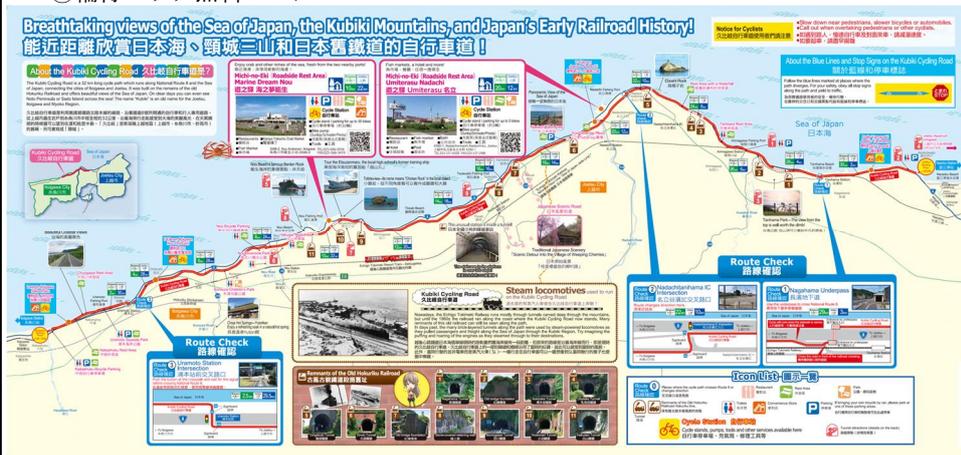
・久比岐自転車道とは、上越市と糸魚川市にまたがる旧北陸本線の廃線跡を活用した自転車歩行者専用道  
 ・行政機関（国土交通省、新潟県、上越市、糸魚川市）、観光関係者、サイクルショップ等からなる久比岐自転車道魅力アップ実行委員会を設立し、久比岐自転車道の魅力・情報発信、サイクリストの受入環境整備を行っている。

(1) 魅力・情報発信

- ①ガイドマップの制作      ②PRキャラクターの作成及び活用      ③サイクルモードへの出展・PR
- ④久比岐自転車道ホームページの作成      ⑤スタンプラリー開催      ⑥インフルエンサーによる情報発信

(2) 受入環境整備

- ①サイクルステーションの整備      ②誘導標示（ブルーライン）      ③自転車施設整備
- ④輪行バッグ無料レンタル



久比岐自転車道 PRキャラクター  
くびきりん  
「久比岐 凛」

ガイドマップの制作（日本語版の他に、英語・中国語版も制作）

PRキャラクターの作成



誘導標示（ブルーライン）※ルート誘導を設置



自転車道施設整備※施設のリニューアル



サイクルラック



修理工具



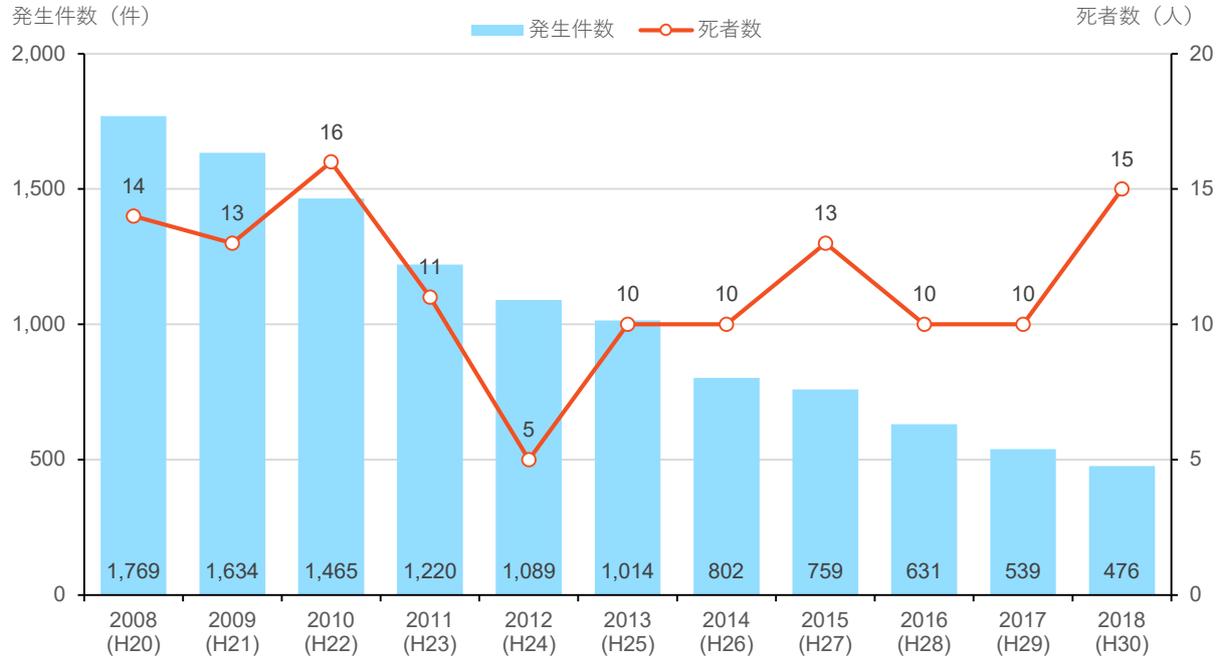
サイクルステーションの標示

サイクルラック、空気入れ・修理工具の貸出し、トイレ利用などのサービスが受けられるサイクリストの休憩所現在5箇所(道の駅2、コンビニエンスストア3)

## 4. 安全・安心

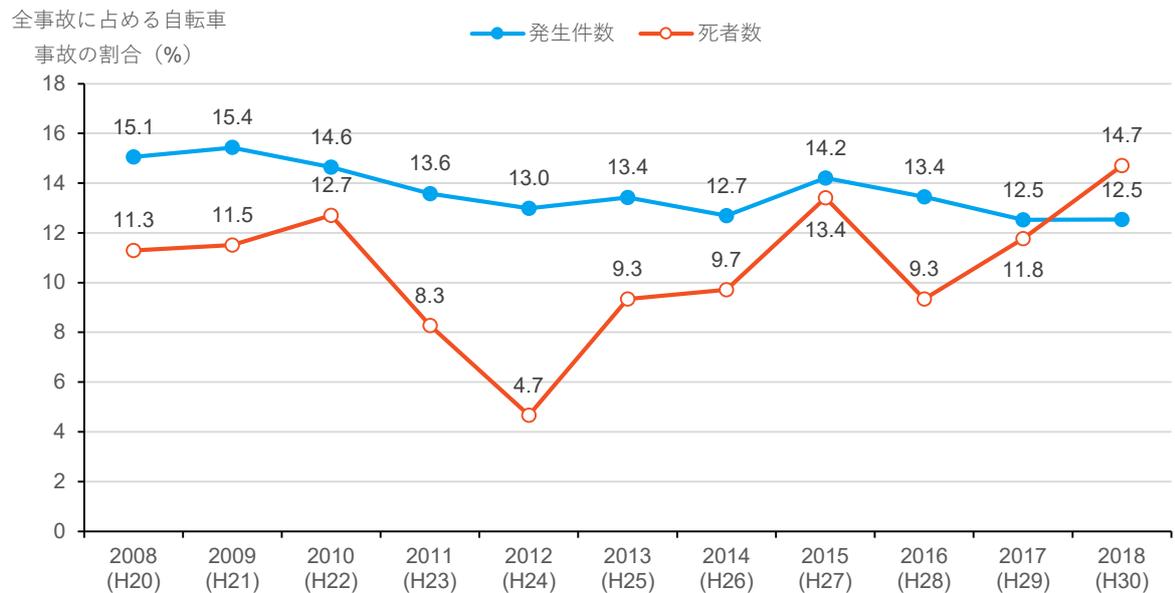
### (1) 自転車事故の発生状況

- 本県の自転車が関連する事故件数は減少傾向、死亡者数は横ばい傾向。
- 自転車が関連する事故のうち、自転車側の法令違反が約8割となっている。
- 自転車の通行空間の整備とともに、自転車利用者の安全意識の向上が必要である。



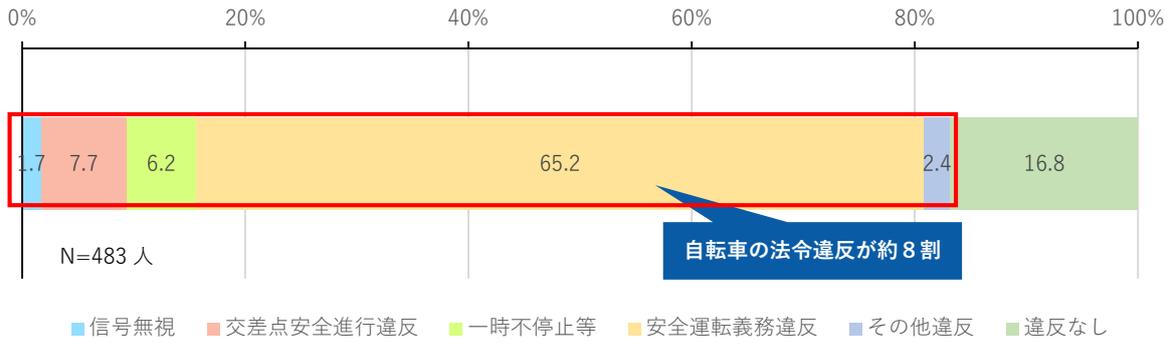
【出典】H30 交通年鑑（新潟県警察本部）

図 2-15. 本県の自転車関事故推移



【出典】H30 交通年鑑（新潟県警察本部）

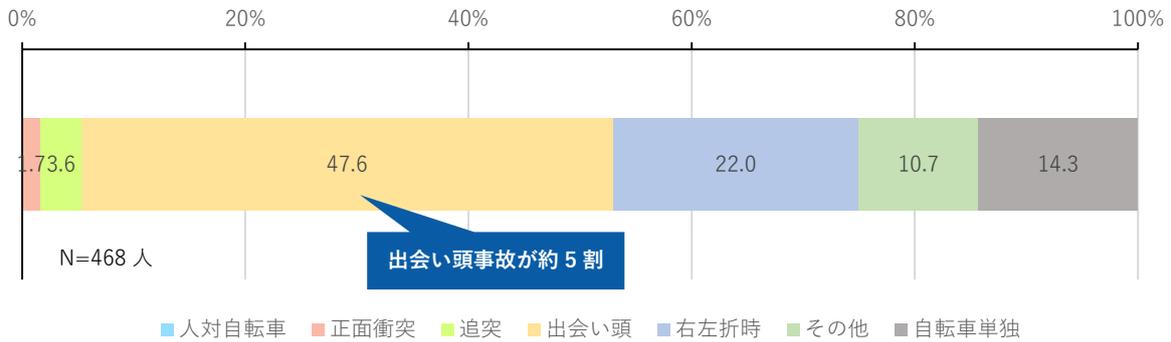
図 2-16. 全事故に占める自転車事故の割合



【出典】 H30 交通年鑑（新潟県警察本部）

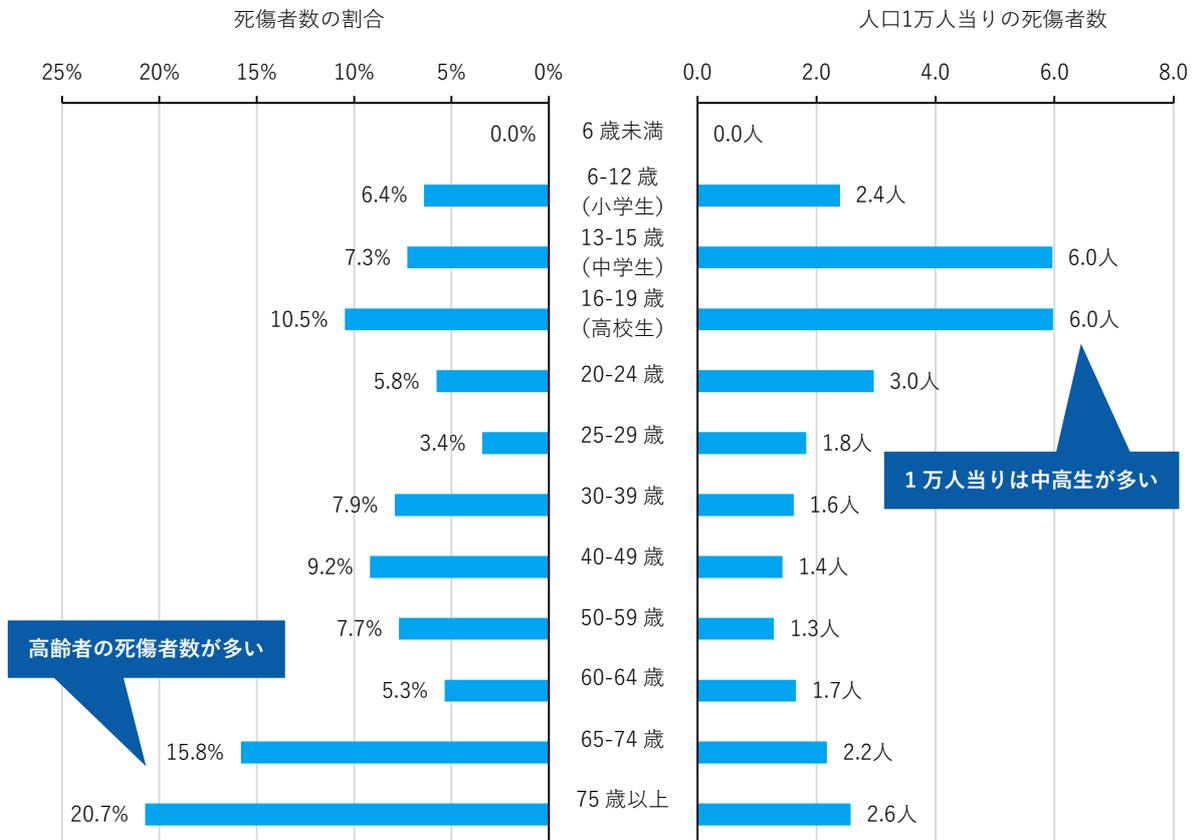
※自転車乗用中（運転中）の第1当事者及び第2当事者の法令違反を集計

図 2-17. 自転車事故 違反別発生状況（当事者数）



【出典】 H30 交通年鑑（新潟県警察本部）

図 2-18. 自転車事故 事故類型別発生状況（死傷者数）



【出典】 H30 交通年鑑（新潟県警察本部）、新潟県推計人口（令和元年10月1日現在）

図 2-19. 年齢別の自転車事故発生状況

(2) 安全教育

- 平成30年の自転車に関する交通安全教育の実施状況は96,089人で、うち参加・体験・実践型の教育は25,136人となっている。
- 小学生～高校生までの参加が多く、大学生等、一般、高齢者の参加者数、回数が少ない。

表 2-2. 平成30年交通安全教育実施状況（累計）

	歩行者		自転車		原付・自動二輪車		自動車		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
幼児	289	19,658	2	369	0	0	0	521	13	2,490	304	23,038
小学生	152	13,894	344	31,690	0	0	0	250	19	1,859	515	47,693
中学生	2	216	98	16,756	0	0	0	22	0	66	100	17,060
高校生	6	697	82	40,065	45	1,140	3	15	2	761	138	42,678
大学生等	2	480	9	2,117	1	10	14	1,862	3	755	29	5,224
一般	68	6,713	55	4,247	12	454	920	53,106	82	6,054	1,137	70,574
高齢者	417	17,567	13	845	1	50	206	8,051	47	3,110	684	29,623
合計	936	59,225	603	96,089	59	1,654	1,143	63,827	166	15,095	2,907	235,890

表 2-3. うち参加・体験・実践型教育実施状況

	歩行者		自転車		原付・自動二輪車		自動車		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
幼児	92	5,638	0	101	0	0	0	40	3	558	95	6,337
小学生	44	4,905	158	12,980	0	0	0	10	4	462	206	18,357
中学生	0	1	32	6,739	0	0	0	10	0	0	32	6,750
高校生	2	238	8	4,066	31	287	2	7	0	0	43	4,598
大学生等	0	0	1	40	1	10	1	120	0	0	3	170
一般	10	1,190	11	881	1	39	60	1,555	9	720	91	4,385
高齢者	89	2,984	5	329	1	50	35	931	4	93	134	4,387
合計	237	14,956	215	25,136	34	386	98	2,673	20	1,833	604	44,984

【出典】H30 交通年鑑（新潟県警察本部）

(3) 自転車事故による損害賠償の現状

- 近年、全国的に自転車事故をめぐる損害賠償も高額化しており、1億円近い賠償金の支払いが命じられる事例も出ている。

表 2-4. 自転車事故での高額賠償事例

賠償額(概算)	判決日	概要
約 9,500 万円 兵庫県	平成25年 7月4日	男子小学生が、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。
約 9,200 万円 東京都	平成20年 6月5日	男子高校生が昼間、自転車横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた男性会社員(24歳)と衝突。男性会社員に重大な障害が残った。
約 6,700 万円 東京都	平成15年 9月30日	男性が交差点に進入、横断歩道を横断中の女性と衝突。女性は脳挫傷等で3日後に死亡
約 5,400 万円 東京都	平成19年 4月11日	男性が交差点に進入、横断歩道を横断中の女性と衝突。女性は頭蓋内損傷等で11日後に死亡

### 5. 自転車の利用環境

- 本県は、全域が豪雪地帯に、18市町村が特別豪雪地帯に指定されている豪雪県であり、特別豪雪地帯における居住人口は全国で最も多く、87万人となっている。
- 降雪時には道路上に雪があり、自転車の走行空間は制限され、積雪期の自転車利用は適さない地域と言える。
- 一方、本県の道路は、道路除雪時に一次的に雪をためておく堆雪帯が確保された幅の広い道路が多いため、車道混在の自転車空間が整備しやすい環境となっている。

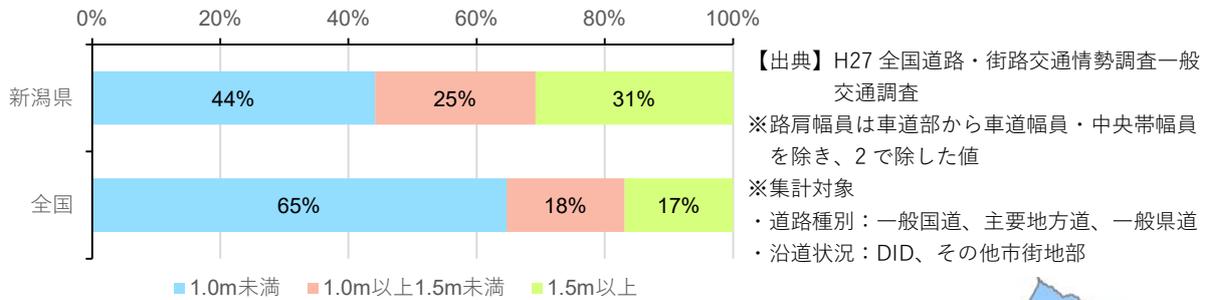


図 2-20. 国道・県道の路肩幅員

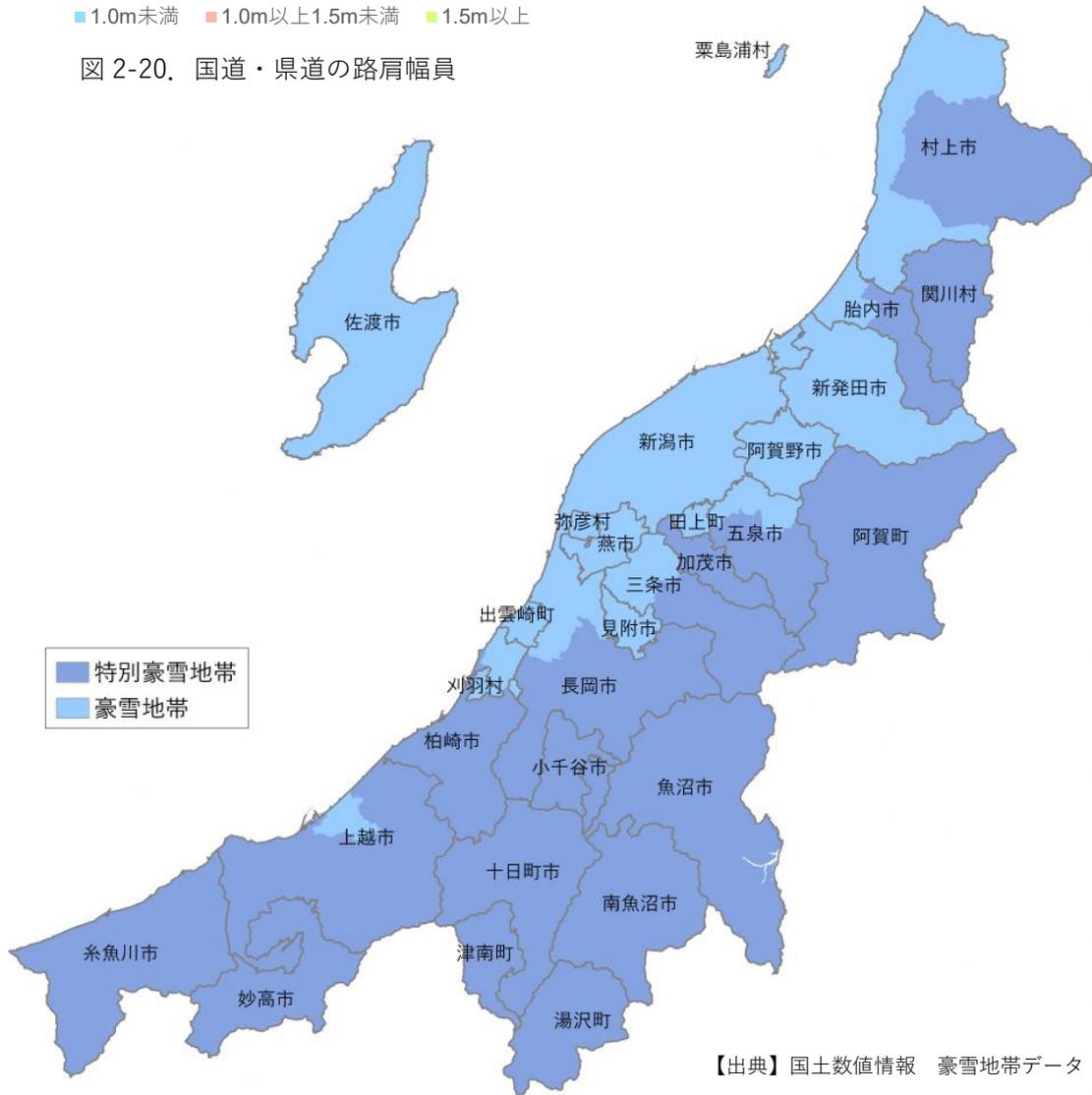


図 2-21. 豪雪地域の指定状況

## 6. まとめ

### (1) まちづくり

- 自転車は環境に優しい交通手段であり、自転車利用への転換により、二酸化炭素排出量削減が期待される。
- 超高齢社会の進展が全国より早いペースで進む新潟県では高齢化を重要課題と捉える。
- 自動車に依存しない都市交通や自転車走行空間の確保を目指す必要がある。具体的には公共交通の利便性の向上などにより持続可能な交通ネットワークを形成する。
- 自転車は5km以内では最も移動時間の短い交通手段であり安全性・利便性を高めることで上記の交通ネットワークの形成に寄与することが期待される。

### (2) 健康・スポーツ

- 県民の中で運動習慣が身につけている人が少ない。運動習慣の形成には生活の中に運動を取り入れることが重要である。
- 徒歩・自転車による通勤は運動効果が高く、心臓疾患等による死亡リスクを低くする。
- ウォーキングのほか、サイクリススポーツの振興の推進により自転車を活用した運動習慣が形成され県民の健康維持・増進に貢献することが考えられる。

### (3) 観光

- 旅行形態が従来の団体旅行から個人・グループ旅行へとシフトしているほか、自然や文化等を体験・体感する「コト消費」への関心が高まっている。
- とくに、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、密集を避け、適度に体を動かすことができるサイクリングなどの屋外で行うアクティビティへの関心が高まっている。
- 訪日外国人旅行者については、年間を通じた誘客が課題となっていることから、今後増加が予想されるFITやSITをターゲットに、サイクルツーリズムを含む新たな観光コンテンツづくりに取り組むことが重要である。
- 県内では自転車イベントが数多く開催されているが、サイクリングは地域の魅力を五感で感じることができるとともに、食事、宿泊等の地域経済にも効果が期待できることから、グリーンシーズンにおける誘客に向け、サイクルツーリズムにかかる取組に対し、受入環境と情報発信の両面で支援し、観光振興を図ることが重要である。

### (4) 安全・安心

- 自転車に関連する事故件数は減少傾向、死亡者数は横ばい傾向。また、自転車側の法令違反が多い。
- 自転車利用者への安全教育などソフト施策を推進する必要がある。
- 自転車利用者が加害者となる事故の被害者救済の観点から、自転車の利用者等の自転車損害賠償責任保険等への加入を促進する必要がある。

### (5) 自転車の利用環境

- 本県の道路は、道路除雪時に一次的に雪をためておく堆雪帯が確保された幅の広い道路が多いため、自転車専用通行帯や車道混在の自転車空間が整備しやすい環境となっている。

## 第3章 計画の目標

新潟県における自転車を取り巻く現状と課題に対応するため、本計画では以下の4つの目標を掲げる。

### 目標1：まちづくり

#### 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

高齢者をはじめ全ての人の移動のしやすさに配慮するとともに、過度に自動車に依存しない人と環境にやさしいまちづくりを目指し、自転車通行空間の確保など誰もが快適に自転車を利用できる環境づくりを行うことで、良好な都市環境の形成の推進を図る。

### 目標2：スポーツ・健康

#### サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

日常生活における自転車利用も含めた生涯スポーツの普及促進により、心身の健全な発達や、生きがいのある豊かな生活の実現、県民の健康寿命の延伸等を目指す。

### 目標3：観光

#### サイクルツーリズムの推進による観光立県の実現

自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行の促進や、各種自転車関連イベントの開催等を通じた観光地域づくりを推進し、自転車を活用した地域の活性化を図る。

地域資源を活かしたサイクルツーリズムやサイクリスト受入れのための環境整備、情報発信による観光・地域振興を図る。

### 目標4：安全・安心

#### 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

自転車利用者に対し、交通ルールの周知や安全教育を推進するとともに、自転車損害賠償責任保険等への加入を促進することにより、交通の安全・安心の確保を図る。また、災害時における自転車の有効活用を図ることにより、地域社会の安全・安心を向上させる。

## 第4章 実施すべき施策

本計画における4つの目標を達成するために取り組むべき施策及びこれらの施策を着実に実施するため、計画期間中に講ずべき代表的な事例について、下記のとおり定める。

本計画に記載の施策・取組は新潟県における基本的な方針であり、これ以外の施策・取組を妨げるものではない。

	施策	取組
まちづくり	1 自転車通行空間の確保・整備	① 自転車通行空間の確保・整備
		② 「自転車通行帯」の設置検討
		③ 道路標識・道路標示・信号機の適切な設置・運用
	2 違法駐車取締りの推進	① 駐車禁止等の規制実施
		② 違法駐車の前向きな取組み
		③ 駐車監視員による違法車両の確認
3 まちづくりと連携した総合的な取組みの実施	① ゾーン30や狭さく等による安全対策の実施	
	② 無電柱化と合わせた自転車通行空間の整備	
スポーツ・健康	4 サイクルイベントへの支援	① サイクルイベントの後援・共催
	5 スポーツによる地域活性化の推進	① スポーツの力と地域資源を活用した活動への支援
	6 自転車の活用推進に関する広報啓発	① 自転車の活用推進に関する広報啓発
観光	7 サイクルツーリズムを含んだ観光への支援	① サイクルツーリズムを含んだ観光への支援
	8 サイクルイベントへの支援	※「4 サイクルイベントへの支援」再掲
	9 スポーツによる地域活性化の推進	※「5 スポーツによる地域活性化の推進」再掲
安全・安心	10 自転車通行空間の確保・整備	※「1 自転車通行空間の確保・整備」再掲
	11 自転車の安全利用の促進	① 自転車安全利用五則の活用等による通行ルールの周知
		② 交通安全意識向上を図る広報啓発
		③ ヘルメット着用の広報啓発
		④ 自転車運転者講習制度の着実な運用
		⑤ 交通安全に関する指導技術の向上
		⑥ 高齢者向けの安全教室の実施
		⑦ 自転車指導啓発重点地区・路線における重点的な取締りの実施
		⑧ 地域交通安全活動推進委員等による指導啓発活動の推進
	12 学校における交通安全教育の推進	① 交通安全教室の開催
		② 交通安全教室の講師へ向けた講習会実施
		③ 通学路周辺の安全点検の実施
	13 自転車損害賠償責任保険等への加入、点検整備の促進	① 自転車損害賠償責任保険等への加入の推進
		② 自転車の点検整備を促進するための広報啓発
14 災害時における自転車活用の推進	① 災害時における自転車活用の推進	

1. まちづくり

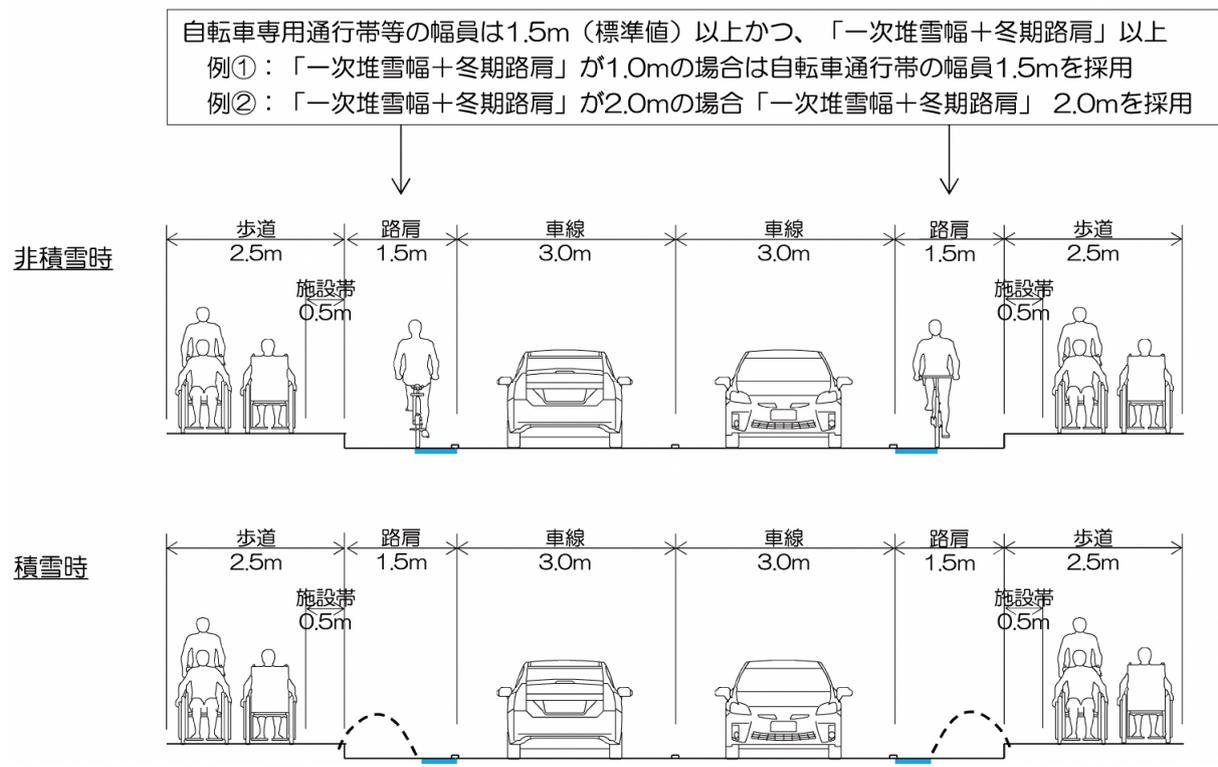
目標1：自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

施策1 自転車通行空間の確保・整備

①自転車通行空間の確保・整備

継続実施

取組内容	<p>市町村が策定する自転車ネットワーク計画に基づき、関係機関と連携しながら、自転車通行空間の整備を推進する。</p> <p>除雪時に一次的に雪をためておく堆雪帯が確保された幅の広い道路を、冬期以外は車道混在の自転車空間として整備する。</p>
	
	<p>自転車専用通行帯                      自転車専用通行帯                      車道混在</p> <p style="text-align: right;">【出典】国土交通省</p>
担当課	道路管理課、道路建設課、都市整備課、交通規制課



【出典】新潟市自転車走行空間整備ガイドライン（新潟市）

図4-1. 積雪時と非積雪時の自転車通行帯の活用イメージ

② 「自転車通行帯」の設置検討

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>「新潟県道路の構造の技術的基準等を定める条例」に、道路交通法に基づき指定される普通自転車専用通行帯として運用可能な「自転車通行帯」の構造基準を規定する。</p>	
<p>自転車専用通行帯の例【出典】国土交通省</p>		
<p>担当課</p>	<p>道路管理課、道路建設課、都市整備課</p>	

③ 道路標識・道路標示・信号機の適切な設置・運用

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>自転車交通を含め、全ての交通に対する安全と円滑を図るために、道路標識や道路標示、信号機の適切な設置や運用に努める。</p>	
<p>自転車ナビライン設置と左折車の交錯を避けた現示調整を行った例（東京都港区・札の辻交差点） 【出典】国土交通省</p>		
<p>担当課</p>	<p>道路管理課、道路建設課、都市整備課、交通規制課</p>	

施策2 違法駐車取締りの推進

① 駐車禁止等の規制実施

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>自転車通行の安全性を向上させるため、自転車専用通行帯の設置区間では、自転車を含めた周辺の交通実態等や沿道状況等を踏まえ、停車帯の設置又は駐停車禁止の規制を検討する。</p>	
<p>自転車専用通行帯の駐車禁止の規制事例 【出典】国土交通省、警察庁</p>		
<p>担当課</p>	<p>交通規制課、道路管理課</p>	

②違法駐車の積極的な取締り

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>地域住民の意見・要望等を踏まえて違法駐車取締りに係るガイドラインを策定、公表、見直し、悪質性・危険性・迷惑性の高いものに重点を置いて取締りを行うことにより、安全で快適な自転車通行空間を確保する。</p>	
<p>担当課</p>	<p>交通指導課</p>	

違法駐車取締り重点地域例  
【出典】国土交通省、警察庁

③駐車監視員による違法車両の確認

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>駐車監視員を活用し、駐車違反を行った者又は違反車両の使用者の責任を問う現行制度を引き続き適切に推進することにより、安全で快適な自転車通行空間を確保する。</p>	
<p>担当課</p>	<p>交通指導課</p>	

違法駐車確認イメージ  
【出典】警察庁

施策3 まちづくりと連携した総合的な取組みの実施

①ゾーン30や狭さく等による安全対策の実施

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>道路管理者と公安委員会が連携して、通過交通や車両速度の抑制等を目的とする「ゾーン30」を整備するなど、歩行者や自転車利用者が安全に通行できる道路空間の確保を図る。</p>		
<p>担当課</p>	<p>交通規制課、道路管理課</p>		

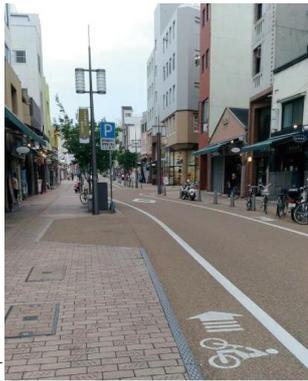


ゾーン入口の明示      交差点の明確化      車道幅員の縮小

【出典】新潟県警察

②無電柱化と合せた自転車通行空間の整備

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>無電柱化の推進を図り、無電柱化の実施路線においては、道路空間を活用した自転車通行空間の確保を検討する。</p> <p style="text-align: center;">無電柱化と合わせた通行空間の整備例（愛媛県松山市） 【出典】国土交通省資料</p>	
<p>担当課</p>	<p>道路建設課、都市整備課</p>	

2. スポーツ・健康

目標2：サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

施策4 サイクルイベントへの支援

①サイクルイベントの後援・共催

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>市町村等が取り組む自転車大会やサイクルイベントについて後援・共催し、子どもから大人まで自転車に乗ることで健康増進や自転車利用の促進を図る。</p> <p>新潟県で後援・共催しているイベント</p>  <p>スポニチ佐渡ロングライド（佐渡市）</p>
<p>担当課</p>	<p>スポーツ課</p>

施策5 スポーツによる地域活性化の推進

①スポーツの力と地域資源を活用した活動への支援

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>スポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくりに取り組む活動の支援を行う。</p> <p>【取組事例】 「RIDE ON 南魚沼プロジェクト」 自転車を軸に、地域資源を活用し南魚沼の課題にみんなで挑戦する。スポーツの力で地域を元気にし、南魚沼に自転車文化を根付かせる。</p>  <p>RIDE ON 南魚沼プロジェクト</p>  <p>ランニングバイク事業の取組事例</p>  <p>サイクルステーション設置の取組事例</p>
<p>担当課</p>	<p>スポーツ課</p>

施策6 自転車の活用推進に関する広報啓発

①自転車の活用推進に関する広報啓発

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>自転車の活用の推進についての関心と理解を深めるため設けられた、毎年5月の「自転車月間」、5月5日の「自転車の日」に合わせた広報等、自転車の活用推進に係る広報啓発活動を実施する。</p>
<p>担当課</p>	<p>道路管理課</p>

3. 観光

目標3：サイクルツーリズムの推進による観光立県の実現

施策7 サイクルツーリズムを含んだ観光への支援

① サイクルツーリズムを含んだ観光への支援

継続実施

取組内容	<p>自転車道と周辺観光施設等を組み合わせた広域的なサイクルツーリズムの取組や受入体制整備などに対し、補助金制度などを通じて支援する。</p> <p><b>【取組事例】</b>  「上越・糸魚川・妙高広域観光ブランド推進検討会」  上越、糸魚川、妙高エリアの海と山が近接するダイナミックな自然環境と、それらが育んだ食文化という地域資源を活用し、その沿線を走る自転車道を活用した取組。  受入体制整備、モニターツアーの実施や Youtube などを活用した情報発信を実施し、広域観光ブランドとして確立する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>サイクルモニターツアーの実施</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>Youtube 動画での情報発信</p>  </div> </div>
担当課	観光企画課

施策8 サイクルイベントへの支援

「施策4 サイクルイベントへの支援」と同様。

施策9 スポーツによる地域活性化の支援

「施策5 スポーツによる地域活性化の支援」と同様。

4. 安全・安心

目標4：自転車事故のない安全で安心な社会の実現

施策10 自転車通行空間の確保・整備

「施策1 自転車通行空間の確保・整備」と同様。

施策11 自転車の安全利用の促進

①自転車安全利用五則の活用等による通行ルールの周知

継続実施

取組内容

自転車乗車中の事故や自転車の安全利用を促進するため「自転車安全利用五則」を活用するなどにより、歩行者や他の車両に配慮した通行等自転車の正しい乗り方に関する普及啓発の強化を図る。



小学生向けチラシ  
【出典】新潟県警察



中学・高校生向けチラシ  
【出典】新潟県警察

担当課

交通企画課

②交通安全意識向上を図る広報啓発

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>自転車利用者の交通ルール遵守及びマナーの向上のため、5月の「自転車月間」(自転車月間推進協議会主催、警察庁後援)等をとらえ、「自転車安全利用五則」の浸透を図るとともに、自転車の安全利用に関する広報啓発を強化するなど、県下一斉の広報キャンペーン等を展開する。</p> <p style="text-align: right;">自転車安全月間広報啓発用チラシ 【出典】新潟県警察</p>	
<p>担当課</p>	<p>交通企画課</p>	

③ヘルメット着用の広報啓発

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>自転車乗車時の頭部保護の重要性とヘルメット着用による被害軽減効果について理解促進に努め、幼児・児童の着用の徹底を図るほか、高齢者や中学・高校生等の自転車利用者に対しても、ヘルメットの着用を促進する。</p> <p>また、ヘルメット着用の効果的な促進のあり方について、検討を行う。</p> <p style="text-align: right;">ヘルメット着用促進広報啓発用チラシ 【出典】警察庁・都道府県警察</p>	
<p>担当課</p>	<p>交通企画課、県民生活課</p>	

④自転車運転者講習制度の着実な運用

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>自転車運転者講習制度を適切に運用し、危険な違反行為を繰り返す自転車運転者に対する教育を推進する。</p> <p style="text-align: right;">自転車運転者講習広報啓発用チラシ 【出典】新潟県警察</p>	
<p>担当課</p>	<p>交通企画課</p>	

継続実施

⑤交通安全に関する指導技術の向上

<p>取組内容</p>	<p>自転車安全教育指導員等への研修会等を開催し、自転車の安全利用に関する指導技術の向上等を図る。</p>	
<p>交通安全啓発に関するボランティア等に対する講習会 【出典】警察庁</p>		
<p>担当課</p>	<p>県民生活課</p>	

⑥高齢者向けの安全教室の実施

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>高齢者の自転車事故を防止しつつ、社会参加の機会を確保するため、自転車イベント等において、シミュレーターを活用した高齢者向けの交通安全教室を引き続き実施する。</p>	
<p>シニアカレッジ交通安全講習会 【出典】新潟県警察</p>		
<p>担当課</p>	<p>交通企画課</p>	

⑦自転車指導啓発重点地区・路線における重点的な取締りの実施

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>自転車に関係する交通事故の発生状況、地域住民の苦情・要望の状況等を踏まえて自転車指導啓発重点地区・路線を選定し、当該地区において重点的に、自転車利用者の無灯火、二人乗り、信号無視、一時不停止等に対し指導警告を行うとともに、悪質・危険な違反に対して検挙措置を講ずる。</p>	
<p>自転車の指導・取締り状況 【出典】警察庁</p>		
<p>担当課</p>	<p>交通企画課</p>	

⑧地域交通安全活動推進委員等による指導啓発活動の推進

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>地域交通安全活動推進委員、ボランティア、県、関係機関・団体、地域住民等において、違反行為を防止するため、指導啓発活動を推進するとともに、県警察による交通違反に対する指導取締りを進める。</p>	
<p>担当課</p>	<p>交通企画課</p>	

交通安全運動における高校生との広報活動【出典】新潟県警察

施策12 学校における交通安全教育の推進

①交通安全教室の開催

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>小中高校生を対象として、生徒の発達段階に応じた交通安全教育が実施されるよう、交通安全教室等を着実に開催し、交通安全の意識を推進していく。</p>	
<p>担当課</p>	<p>交通企画課</p>	



交通安全教室の開催状況【出典】新潟県警察

②交通安全教室の講師へ向けた講習会実施

継続実施

取組内容	県内市町村に対し、交通安全教室等の講師となる教職員等へ向けた講習会開催を支援するとともに、指導の参考となる資料を周知する。
担当課	交通企画課

③通学路周辺の安全点検の実施

継続実施

取組内容	<p>教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者等により、自転車の視点も踏まえた通学路の安全点検を検討する。</p> <p>安全点検の実施結果を踏まえて、交通安全の確保に必要な対策を実施する。</p>
担当課	道路管理課、交通規制課



学校や警察等と合同で通学路の点検を行い、段階的に安全対策を行っている。

【出典】阿賀野市通学路交通安全プログラム  
※県内市町村にて通学路交通安全プログラムを作成

施策 13 自転車損害賠償責任保険等への加入、点検整備の促進

①自転車損害賠償責任保険等への加入の推進

継続実施

取組内容	<p>近年、自転車が加害者となる事故に関し、高額な賠償額となるケースもあり、こうした賠償責任を負った際の支払い原資を担保し、被害者の救済の十全を図るため、関係事業者等の協力を得つつ、自転車損害賠償責任保険等への加入促進に向けた広報啓発活動を実施する。</p> <p>また、自転車損害賠償責任保険等への効果的な加入促進のあり方について、検討を行う。</p>
担当課	県民生活課

②自転車の点検整備を促進するための広報啓発

継続実施

取組内容	自転車の安全利用を確保し、自転車事故の防止を図るため、日常の点検整備及び定期的な点検整備を促進するための広報啓発を実施する。
担当課	県民生活課

施策 14 災害時における自転車活用の推進

①災害時における自転車活用の推進

継続実施

<p>取組内容</p>	<p>災害時の被災状況の調査について、車両での通行が困難な場合は、バイク、自転車等も利用し全貌を把握する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">道路管理における緊急点検用自転車の配備 【出典】国土交通省</p>
<p>担当課</p>	<p>防災企画課</p>

## 第5章 計画の推進

### 1. 計画のフォローアップと計画の見直し

#### (1) フォローアップと見直しの考え方

本計画は、PDCA（計画－実行－評価－見直し）サイクルに基づき、総合的な点検・評価、施策や取組の改善・反映を行う。

また、各分野における新たな施策を、随時追加できるようフォローアップを行う。

なお、本計画の実施状況や、社会情勢の変化等を踏まえて、必要に応じて本計画の見直しを行う。また、国の推進計画において改定等がなされた場合には、改定内容と当該計画の記載内容との整合性を確認した上で、必要に応じて取組等を再設定する。

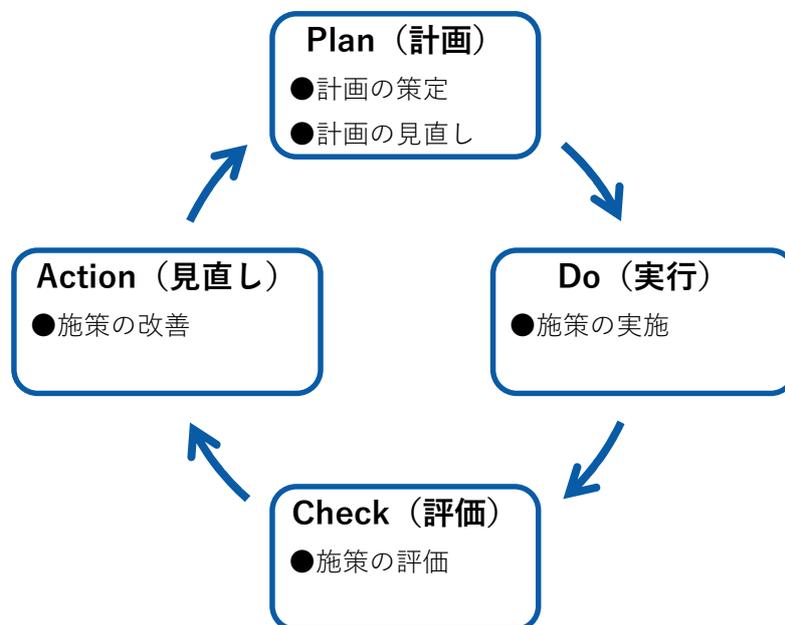


図 5-1. PDCA サイクル